



理工学専攻知能情報工学コース博士前期課程1年のチームが ハッカソンイベント「ガバイソン2024夏」で最優秀賞を受賞

【概要】

理工学専攻知能情報工学コース博士前期課程1年のチームが、2024年9月2日（月）～3日（火）に佐賀市で開催されたハッカソンイベント「ガバイソン2024夏」で、最優秀賞を受賞しました。

【本文】

社会課題の解決につながるアプリケーションを開発するハッカソンイベント「ガバイソン2024夏」が、2024年9月2日（月）13:00～3日（火）17:00に、佐賀市富士町の合宿施設「SAGA FURUYU CAMP」で開催されました。このイベントでは、サガン鳥栖の試合を観戦するため県外から佐賀県に訪れるサポーターが、より長く佐賀に滞在し、その魅力を感じてもらうためのアプリを企画・開発しました。参加者は、本学学生を中心に、県内外の大学生35人が7チームに分かれて参加しました。その結果、理工学専攻知能情報工学コースの中山研究室の博士前期課程1年の5名（岸本 蒼唯さん、古賀 創臣さん、高津 汰耀さん、福嶋 通明さん、山下 優斗さん）からなるチームが開発した「推しメンビンゴ」が最優秀賞を受賞しました。

「推しメンビンゴ」は、見知らぬサポーター同士をつなぐことをコンセプトに、ビンゴでつながったサポーターに佐賀の加盟店で使えるクーポンを配布し、佐賀の魅力を体験してもらい、長く滞在してもらうことを目指したアプリです。このアイデアと開発成果の発表が高く評価され、最優秀賞の受賞に至りました。今後益々の活躍が期待されます。



「推しメンビンゴ」の発表スライド



授賞式の様子

（左から、福嶋さん、高津さん、
古賀さん、岸本さん、山下さん）